



2025年3月17日

各 位

会社名 株式会社カラダノート

代表者名 代表取締役 佐藤 竜也

(コード番号：4014 東証グロース)

問合せ先 執行役員コーポレート本部長 長岡 秀周

(TEL 03-4431-3770)

株式会社カラダノートと住友生命保険相互会社における 業務提携の検討に関する覚書締結について

株式会社カラダノート（代表取締役 佐藤 竜也、以下「カラダノート」）と住友生保相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、両社の企業価値と社会全体のウェルビーイング向上のため、業務提携の検討に関する覚書を本日締結しました。

記

1. 本業務提携検討の趣旨

カラダノートは、妊娠・子育て支援アプリやヘルスケアアプリの開発・提供を通じて蓄積した約290万世帯のファミリーデータ^{※2}を基盤に、主に金融・住宅領域へと事業を展開し、家族のQOL（生活の質）向上に取り組んできました。さらに、ビジネスパートナーとの連携を強化し、少子高齢化社会における既存の社会保障制度を補完する新たな共助の仕組み・エコシステムの確立を目指し事業開発を進めています。

住友生命は、グループの2030年にありたい姿として「ウェルビーイングに貢献する『なくてはならない保険会社グループ』」を掲げ、保険の枠を超えて、「一人ひとりのよりよく生きる＝ウェルビーイング」の貢献に資するサービスを拡大しています。また、WaaS (Well-being as a Service) をエコシステム^{※1}として展開することで、住友生命ならではの価値の実現を目指しています。

両社は、それぞれのアセット・ノウハウを組み合わせることで、日本の少子化課題の解決と“ウェルビーイング価値を提供するお客さまの拡大”を実現できると考え、業務提携の検討に関する覚書締結に至りました。

今後、持続可能な社会の実現のため、自治体や企業との連携も含めた少子化課題の解決に向けた取り組みや、保険とヘルスケア領域における顧客体験の革新につながる取り組みなど、様々な協業を検討し、両社の企業価値と社会全体のウェルビーイング向上を図っていきます。

※1 住友生命では Vitality 健康プログラムを中心とするウェルビーイングに資するサービスエコシステムを「WaaS」と定義しています。

※2 2025年3月時点。

2. 相手先の概要

(1)名称	住友生命保険相互会社		
(2)所在地	大阪府大阪市中央区城見1-4-35		
(3)代表者の役職・氏名	取締役 代表執行役社長 高田 幸徳		
(4)事業内容	生命保険業		
(5)設立年月	1907年5月		
(6)基金(基金償却積立金含む)	6,890億円		
(7)大株主 ※	—		
(8)上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません	
	人的関係	該当事項はありません	
	取引関係	該当事項はありません	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません	
(9)当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
連結純資産	1,625,279百万円	730,264百万円	1,784,843百万円
連結総資産	42,994,287百万円	42,632,444百万円	48,124,026百万円
1株当たり純資産※	—	—	—
連結経常収益	3,599,428百万円	4,222,291百万円	4,378,769百万円
連結経常利益	128,811百万円	39,358百万円	117,791百万円
会社に帰属する当期純剰余	45,605百万円	119,992百万円	164,196百万円
1株当たり当期純利益※	—	—	—
1株当たり配当金※	—	—	—

※ 該当事項がございませんので、記載を省略させていただいております。

3. 今後の予定

今後、両社で1～2か月を目途に提携範囲や規模をより明確にする検討を進めていきます。その結果、業務提携の合意に至った際には、その内容について改めてお知らせします。

4. 今後の業績影響について

本件による当社業績への影響は現在精査中です。確定次第速やかにお知らせいたします。

以上